

第34回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日時：令和8年6月12日（金）16：10～16：20

場所：官邸4階 大会議室

出席者：別紙のとおり

議事：宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項について

議事概要：

- 小野田宇宙政策担当大臣から資料1「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項（案）のポイント」の説明が行われた。

- 審議の結果、案のとおり「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項」が決定された。

- 出席者からの発言は以下のとおり。
 - ・ 松本文部科学大臣から、「文部科学省は、宇宙基本計画の更なる進展に向け、宇宙開発の中核機関であるJAXAを中心に宇宙開発利用の取組を強力に推進していく。米国イグニッション構想等の国際情勢も踏まえたアルテミス計画等への国際貢献、MMX等の宇宙科学・探査、宇宙戦略基金を通じた企業・大学支援等に取り組んでいく。12日には、H3ロケット6号機の打上げに成功した。今後、打上げ実績を着実に積み重ね、H3ロケットに対する国内外の信頼を取り戻していく。」といった発言があった。

 - ・ 石原環境大臣から、「環境省では、文部科学省とともに、温室効果ガス観測技術衛星の3号機となるGOSAT-GWを昨年6月に打ち上げた。GOSAT-GWでは、観測精度が大幅に向上し、二酸化炭素やメタンの排出量のより精密な推計が可能になった。これにより、温室効果ガス排出量推計技術の中央アジア、インド等への普及の取組を推進し、同技術の国際標準化を目指す。また、国際機関や民間企業等によるデータの活用も促進し、国内外の排出削減のための行動を後押ししていく。」といった発言があった。

 - ・ あかま国務大臣から、「安全保障・経済安全保障への貢献や経済成長を支える基盤としての地理空間情報の高度化に向け、宇宙から海洋に至る領域横断的視点の重要性が増している。また、「我が国の海洋状況把握(MDA)構想」に基づく取組においても、衛星やAIといった最新技術の活用は不可欠となっている。海洋政策担当大臣として、宇宙分野との連携を一層強化するとともに、公共調達による初期需要確保等を通じ、最新技術の活用を推進していく。」といった発言があった。

- 高市内閣総理大臣より、以下のとおり発言があった。
- ・ 本日、「宇宙基本計画」の今後の重点事項を決定した。
 - ・ 現在の「宇宙基本計画」は、3年前、私が宇宙政策担当大臣として改定し、我が国が優先的に取り組むべき技術を明確にするとともに、民間事業者への戦略的かつ弾力的な資金供給の強化などを掲げた。
 - ・ 高市内閣では、宇宙分野を17の戦略分野の一つに位置づけており、宇宙への投資は、安全保障、経済活動や国民生活を支える「次世代の国家インフラへの重要な投資」である。
 - ・ まず、「安全保障」の観点から、宇宙領域における状況把握能力の強化、衛星コンステレーションの活用などを通じて、宇宙を活用した防衛力の抜本的強化に取り組む。
 - ・ あわせて、同盟国・同志国との連携を一層強化し、自由で開かれた宇宙アクセスを確保していく。
 - ・ また、国際競争が激化する月面探査について、米国が主導する「アルテミス計画」に主体的に参画し、月面探査車「有人と圧ローバ」の開発や、日本人宇宙飛行士による月面着陸の実現を目指す。
 - ・ こうした我が国の宇宙活動を支える基盤が「ロケット・射場」である。
 - ・ 国内で衛星を製造しても、打上げ能力が不足すれば、衛星の打上げを海外に依存することになる。
 - ・ 本日午前、種子島宇宙センターの射場にて、日本の基幹ロケット「H3」の打上げが成功した。たくさんの方々の御尽力に感謝を申し上げる。国内外の打上げ需要に応えるため、我が国のロケット打上げ能力を高めていく。
 - ・ さらに、「民生分野での衛星の利活用」を進めるため、スマート農業、インフラ点検など幅広い分野でスタートアップ支援も視野に入れつつ、政府調達による初期需要を創出する。
 - ・ また、世界最高レベルの測位精度を誇る衛星「みちびき」の体制を拡充し、ドローンや自動運転などでの活用も期待される衛星測位システムの利用可能領域を拡大する。
 - ・ こうした政策を押し進めるためにも、「宇宙戦略基金」による技術開発を進めるとともに、JAXAの人的資源の強化や、宇宙開発戦略推進事務局の体制強化が必要である。
 - ・ 我が国の宇宙活動の自立性を維持・強化し、宇宙先進国の一角として世界をリードしていくための取組を力強く加速させていく必要があるため、小野田宇宙政策担当大臣を中心に、関係閣僚が連携し、来年の「宇宙基本計画」の改定に向けた作業を加速していただきたい。

(議了)

出席者一覧

高市 早苗	内閣総理大臣
小野田 紀美	経済安全保障担当 外国人との秩序ある共生社会推進担当 内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策 人工知能戦略 経済安全保障）
松本 洋平	文部科学大臣
石原 宏高	環境大臣 内閣府特命担当大臣（原子力防災）
松本 尚	デジタル大臣 デジタル行財政改革担当 行政改革担当 国家公務員制度担当 サイバー安全保障担当 内閣府特命担当大臣（サイバー安全保障）
あかま 二郎	国家公安委員会委員長 領土問題担当 内閣府特命担当大臣（防災 海洋政策）
田所 嘉徳	復興副大臣
堀内 詔子	総務副大臣
三谷 英弘	法務副大臣
堀井 巖	外務副大臣
仁木 博文	厚生労働副大臣
井野 俊郎	経済産業副大臣 兼内閣府副大臣
宮崎 政久	防衛副大臣 兼内閣府副大臣
金子 容三	内閣府大臣政務官
古川 直季	内閣府大臣政務官 兼復興大臣政務官
三反園 訓	財務大臣政務官
広瀬 建	農林水産大臣政務官
永井 学	国土交通大臣政務官
尾崎 正直	内閣官房副長官（衆・政務）

佐藤	啓	内閣官房副長官（参・政務）
露木	康浩	内閣官房副長官（事務）
宇野	善昌	内閣総理大臣補佐官 （国土強靱化及び復興等の社会資本整備並びに科学 技術イノベーション政策その他特命事項担当）
市川	恵一	国家安全保障局長兼内閣特別顧問
阪田	渉	内閣官房副長官補（内政）
河邊	賢裕	内閣官房副長官補（外政）
田中	利則	内閣官房副長官補（事態対処・危機管理）
井上	裕之	内閣府事務次官
佐伯	耕三	内閣広報官
風木	淳	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長